



# 楽楽

Raku I aku

<http://asahikon.sakura.ne.jp>

## 祝 楽楽250 広報通算300記念号

### ◆練習スケジュール◆

月 / 日	会 場	時 間	備 考	
1月	20日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	27日(土)	//	//	18:00~ Sop. V.T
	28日(日)	//	13:00~17:00 (※ 下記参照)	特練(石川ひとみ先生)
2月	3日(土)	//	19:00~21:00	
	10日(土)	//	//	
	17日(土)	//	//	
	24日(土)	//	//	
3月	<u>4日(日)</u>	//	//	<u>3日⇒4日に変更です</u>
	10日(土)	//	//	
	17日(土)	//	//	
	24日(土)	//	//	
	31日(土)	//	//	
4月	7日(土)	//	//	
	14日(土)	//	//	10/14までアト6か月!
	21日(土)	//	//	
	28日(土)	//	//	

(※) 1月28日(日)の時間割  
 13:00~ ベースのみ  
 14:00~ ベース + アルト  
 15:00~ ベース + アルト + テナー  
 16:00~ 全パート  
 17:00 終了

(注) 備考欄 P練習=パート練習 V.T.=ヴォイストレーニング 特練=特別練習 です。  
 ※ V.T.とは = 全団(男・女)で取り組む、トレーナー指導による発声練習です。  
 ※ P練習とは = パート単独での自主練習です。(通常練習の補足です)



## 《 広報「楽楽」No.250記念号に寄せて 》

早いもので広報発行 250 回となりました。この記念号に、創立の頃から在籍されている超ベテランの方や 10 年・20 年在籍のややベテランの方々よりメッセージをいただきました。



私が、旭混声のハーモニーの輪に参加させて戴いたのは 2003 年からで、創立以来のベテランに比べればひよっこの部類。合唱は永いブランクがあり、不安と希望を持って入団、入団初期から団内広報誌の編集に参加させて戴き、居心地の良い時間を過ごすことができました。特に「おせっかい豆辞典」なるものを担当させて戴き、ふと思いついたことを調べてみると新たな興味を感じさせるものがあり、楽しい時間でした。

肝心の合唱活動は、今もって発声に悩み、音程に苦しむ状態ですが、日々の自己流練習で迷惑をかけないようにしたいと思っています。



2003 年～

Ten. 林 丁三

毎月発行される「広報」が「250 号」と聞くと長い年月を感じます。広報担当の方より「何か一言を」と言われ、過去の広報を読みました。広報が「楽楽」と名付けられた第 1 号編集者は久野希見子さん。私が昨年 12 月に参加したヘンデル協会の演奏会案内もありびっくり！！

140 号には「更なる高みに着実に歩みを進める旭混声にエールを贈る！」と松本義明さんの言葉もあります。松本さんの温かい言葉を心にしみ込ませ、次回の演奏会を迎えたいです。



1997 年～

Sop. 若杉佳代

合唱団の始まりは 10 数名だった。今の盛況を誰が予想しただろうか。いろいろな方との触れあいと別れがあった。たくさんの素晴らしい音楽と出会うことができた。俳句も詩、リズム感、間、余情など共通点が多く、感性を研ぐことに良かった。夫を何とか看病できたのも俳句や合唱の支えが大きい。30 年続けられたことに感謝あるのみ。



かんまんげつ

寒満月われに

つばさ

翼があるならば

チズ子

つま

き

おしぜみ

はね

夫の忌や啞蟬は羽根ふるはせて

チズ子



1988 年～

Alto 中畑チズ子

広報 250 号!! 素晴らしいです!

記念号を書くにあたり発行当時からの広報を読み返して懐かしく思いました。広報を読むと混声のあゆみがよくわかります。また広報誌として内容もとても充実してきて、合唱団の充実ぶりと相まってとても感慨深いものを感じます。

私が広報を書き始めたころはまだ手書きの頃で、No. も付けていませんでした。月 1 発行を心がけていたので発行の週は頭の中は広報のことで一杯だったのを思い出します。手書きの頃は変更等があると、いちいち消しゴムで消して書き直しましたので、結構面倒でしたが、No. 82 (2000 年) からパソコンを使えるようになり、編集しやすくなりましたし、読みやすくなったと思います。

また広報の中身を楽しくするため No. 86 から後藤恵さん(九州転勤により退団)のユニークな視点で団員へのインタビュー文を書いてもらいました。当時はまだ原稿はファクスで送ってもらっていましたが、それに似顔絵とイラスト等を加えて『後っちゃんコーナー』として皆さんに楽しんでもらいました。そしてその年は神谷先生がわが団の指揮を引き受けて下さった年でもあります。

私が似顔絵を描くようになったのはそれからで、もう 17 年になるようです。皆さん、自分の似顔絵を見て、もっと美男美女だわよ! とがっかりなさっていると思いますが、悪しからず。

広報がこれほど充実したものになってきた要因は、パソコンが普及し、広報委員会として組織的に各担当者がそれぞれの持ち味を生かしたコーナーを責任を持って作成し、送信していることだと思います。また、当時は両面印刷をするとシワが寄ったりインクが滲んだりしていましたが、プリンターもびっくりするほど性能が良くなりましたね。

期待することとして、「おせっかい豆辞典」のようなコーナーがまたあるといいなと思います。



Alto 松本恵美子

団の広報として、名前を付けるにあたり団員から寄せられた複数の候補の中から挙手で「楽楽」に決めた時が思い出されます。私にとって「旭混声」への参加は、どちらの通販にも薬局にも無い健康維持のサプリメントです。広報との関わりとして言えば今年度から会場係をアルト橋詰さん・ソプラノ岩本さんと酒井の三人で分担して練習会場取りに行っています。その結果が毎号の「練習日程」に載ります。早朝からの会場取りは結構大変ですが大切な役割ですので協力して頑張っています。

毎月当たりまえのように手にして、一面の練習日程、行事ごとの案内確認をしたり、松本画伯による新入団員の『似顔絵』付き紹介は、他パートの方の時は特に参考になります。〇〇さん! と挨拶がしやすくなります。最近では「練習日誌」が載っていましたね。できましたらこれからも載せて下さい。いよいよ演奏会の年です。演奏曲についての関連情報もあつたら良いのではと思います。



Alto 酒井富子

松本義明さんの「広報“楽楽”200号に寄せて」で、200号(25/9)、201号(25/10)、202号(25/11)、203号(25/12)、に4回にわたり広報による合唱団の歩みが克明に報告されています。改めて読み返しましたが、その纏め方は素晴らしく合唱団の歴史を学ぶ資料として貴重なものと思いました。皆さんも今一度読み返していただけたらと思います。

1988年1月の「広報No.1」としての発行から50号、新たにスタートした広報楽楽に至る250号発行を含めると通算300号になるのです。(広報に“楽楽”の愛称はNo.140から)旭混声のホームページには資料として既発行の広報がすべて揃っていますのでご覧ください。

# 尾張旭混声合唱団 広報 第1号

平成4年 4月18日

※1 練習日程 1992年

月日	開始時間	場所	指揮者及び内容
5月2日	午後7時	旭山公民館	松善先生
5月9日	?	?	?
5月16日	?	?	?
5月24日	?	?	?
5月30日	?	?	?

広報委員会は新設

※2 お知らせ

- =ハイキングの御案内=
- ▷5月4日(月) 場所 海上
- ▷集合 朝10時 環状線 山口駅
- ▷お弁当持参 物見山の頂上にて昼食

広報委員会の活動も、広報“楽楽”の途切れることのない継続的な発行、ホームページの日常管理での刷新と更新など、藤田美左紀委員長のきめ細かいミーティング開催等を通して全てのメンバーの協力で紙面の充実に努力しています。今後も団員皆さんのご意見に耳を傾け紙面の充実に、又、ホームページの果たしている役割に注目し、新たな旭混声のホームページ作りを目指して頑張っています。メンバー+αでのホームページ作り勉強会をB近藤敏太郎さんの指導で始めています。

皆様の温かいご支援を引き続きお願いいたします。



1988年～

Ten. 酒井敏行

広報

No.1  
1988.1-24.

練習日

月日	時間	場所	曲目
2月14日(日)	1:30	尾張旭中央公民館	エーデルワイス 雲の降り街と アモリア 夜の歌
2月28日(日)	~4:00	中央公民館	夜あけ さよなら草履
3月13日(日)			総会
3月27日(日)	1:30~4:00	藤田公民館	総会

- ▶ 今までの楽譜も持ってきて下さい。
- ▶ 役員さんは欠席団員に連絡下さい。

お知らせ

- 選曲委員会を行いました。  
少し硬いものが続いたので 親しみやすいやさしいものを中心として 上記の曲を決めました。  
この機会に 新人募集を呼びかけます。
- 愛唱歌集をつくりまします。(3周年記念)  
約60曲を選んて 3月末発行と目標に編集にかりました。  
表紙のデザインおよびカットを募集します。  
サイズは B5判 縦向きにセロックスコピーします。  
優秀作品には賞品あり。
- 総会 3月27日(日) 詳細は別途お知らせ。

改めて述べるまでもありませんが、広報“楽楽”は合唱団としての組織活動を全団の皆さんに周知するために大切な役割を担っています。歩みとしての足跡を記録する意味もありますが、大切なことは、今、ここにある現状を正しく皆さんに感じ取っていただく紙面であり続けることではないかと思えます。合唱団の目指している方向性、演奏会やステージ演奏での取り組み、技術的な問題点や課題の提示、役員会や委員会活動の動き、又、団員の皆さんの率直な意見などが、反映されていくことが求められていると思えます。

旭混声合唱団 広報

楽楽 ~ Raku Raku

№ 140  
2007.9.1  
巻付/広報係  
担当:大野

練習日程

月日	会場	時間	備考
8日(土)	加丘公民館	19:00~21:00	
15日(土)	//	//	
9月16日(日)	瀬戸合唱フェスティバル		※詳細別途
22日(土)	加丘公民館	19:00~21:00	
30日(日)	//	//	
10月6日(土)	//	//	
13日(土)	//	//	
20日(土)	//	//	
28日(日)	//	//	
4日(日)	//	//	
10日(土)	//	//	
11月11日(日)	尾張旭市民音楽祭		※詳細別途
17日(土)	加丘公民館	19:00~21:00	
25日(日)	//	//	

ご報告

◎役員会報告

7/21

- 合唱祭についての東海合唱祭の課題について話し合いました。参加グループについて土曜日の夜で良いのか、衣装について(平服で良いのではないのか)、当日練習など。
- 第23回瀬戸合唱フェスについて。
- 第7回楽楽委員会について期日、選曲、実行委員会の立ち上げについて。
- 団の活性化に向けて。

8/25

- 第7回楽楽委員会について。会議、日時については未定。実行委員会名簿の決定、日程表の確認

- 第1希望 長久手町文化の家 8月24日(日)午後9時
- 第2希望 尾張旭市民文化会館 8月25日(月)午後9時

新しいお仲間です！



12月より入団 **アルト 河合喜穂美** さん

- ♪ 演奏会までにいかに要領よくあの大量曲をモノにできるかが勝負?!  
大丈夫です。アルトの優しいお姉さんたちがついてます。みんなでガンバロ~!! ♪  
河合さんの詳細は来月号の突撃いんたびゅーをお楽しみに♪

## 今日のつづやき

いよいよ演奏会イヤーとなりました。演奏会まで、なんと40回しか土曜日はありません。たくさんあるなと思う人、たったそれだけと思う人、それぞれ違うと思いますが、たくさんあると思う人が多いのではないかと思います。

昨年、100人、150人の大合唱に個人的に参加して感じたことは、歌っているまわりの音と、会場で聞こえる音は大人数になれば、違うということです。現在、旭混声は約50人。一人ひとりの力量が会場でわかってしまう人数です。特にフォーレは

男声各パート2分割され4~5人で、

タークダックス(古っ!!)レベルにならないと厳しいかも…

さて、どーしましょう!と正月からあれこれ考えました。

一年の計は元旦にあり!!とばかりに考えました。

- ① 毎月日曜特訓を実施する。(影の声「おいおい」)
- ② パートの声をまとめる。
- ③ 正しい音程でハモらせる。(特にソプラノのC)
- ④ 声をとばす。(影の声「まだあるんかい!!」)
- ⑤ 暗譜。(表の声「えー、また————」)



演奏会をみなさんが楽しんで、いい演奏ができるよう、いろいろ、いろいろ、あれもこれもお願いすることがあると思いますが、

宜しく宜しくお願いいたします m( \_ \_ )m

まさよ

# ホームページの練習日誌より ~ パートリーダーが綴る「練習日誌」~ 《12月分》

12月2日(土) テノール:合瀬

練習曲と内容

神谷先生、石川先生で

## 1. 貝殻のうた

歌詞の意味を意識しての表現が今後望まれる。

## 2. 今、ここに

音の確認。まだ不安定なパートがあるので、音取りをしっかりやっておく必要があります。

## 3. フォーレ レクイエム7番

音の確認。これも音取りをしっかりやっておくことが重要です。

♪18時より男声のP録をやりましたが、ベースなのでこ入れが必要と感じました。

T 酒井さんに作製いただき、Bに配られたCDを活用する必要があります。

次回16日はベースのみの練習といたしたいと思います。

12月16日(土) ベース:酒井敦

18:00~ 男声のパート音取り練習 (Requiem)

19:00~21:00 神谷先生・石川先生による通常練習

### ◆今、ここに

- ・出だしは低い音ですがピッチが下がって低くならないよう注意しましょう。
- ・言葉をしっかりしゃべり、押さないようつなげ 助詞の「は」は軟らかく歌うよう指導がありました。
- ・ベースの14小節はしっかりカウントして伸ばし、15小節目の出だしをしっかり入っていくこと。
- ・28小節の女声のLa は休符をしっかり取り、早くならない事また、全体に長い音符が短くなって早くならないよう注意しましょう。

### ◆貝殻のうた

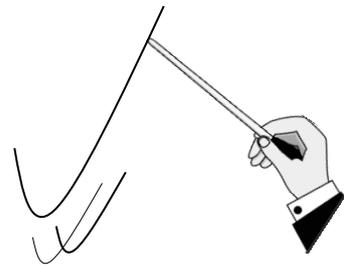
- ・ユニゾンのピッチはそろえるよう注意し、わたしたい/はかなさの言葉をしっかりしゃべるよう指導がありました。
  - ・リズムをしっかりと取り、楽譜をよく確認し付点が短くなり早く出してしまうことがないように注意して歌いましょう。
  - ・61小節からは情景が浮かぶよう くもにも / うしにも … 名詞を大事に歌うよう指導がありました。
- また、70小節からのMeno mossoで響きをおとさないように注意しましょう。

### ◆戦争を知らない子供たち

- ・通して歌いました、ベースの出だし等は復習しておきましょう。

### ◆Requiem 1. INTROIT and KYRIE

- ・休符をしっかりと確認して、絶対飛び出したりしないよう注意してください。
- ・全体に音程がしっかりとれるよう復習をお願いします。
- ・14小節のスは拍内でおさめて、ススとならないよう指導がありました。
- ・Dからは強弱が波をうつように意識して歌い、ベースは同じ音が続きますが下がらないよう・リズム・音程もしっかりとれるよう復習しましょう。



Gabriel Urbain Fauré

♪尾張旭市民合唱団のニューイヤーコンサートの情宣がありました。

1月20日 15:00~ 尾張旭市文化ホール

# ♪コンサート案内♪

## 岐阜大学コーラスクラブ

### 第60回OB合同記念 定期演奏会

#### 第1ステージ

混声合唱アルバム「思い出のアルバム」

#### 第2ステージ

岐合愛喜劇第陸拾編 さえない男に嫁きたる!?

編曲：村上果

#### 第3ステージ

N.White/J.Runestad

宗教作品

作曲：N.White & J.Runestad

#### 第4ステージ

60回記念OB合同ステージ

混声合唱とピアノのための「やわらかいいのち」

作詞：谷川俊太郎

作曲：松下 耕

指揮：松下 耕 ピアノ：石川ひとみ先生

◆日時：2018年1月21日（日）開演 16:00

◆場所：サラマンカホール

◆入場料：1000円

## 合唱団 ういろう

### 第9回演奏会

アラカルトステージ

山下祐加 委嘱初演作品他

混声合唱のための

おらしょ カクレキリシタン3つの歌

混声合唱とピアノのための

もし鳥だったなら

作曲：千原英喜

作詞：立原道造

作曲：信長貴富

指揮：伊東恵司 ピアノ：平林知子

◆日時：2018年2月25日（日）開演 16:30

◆場所：サラマンカホール

◆入場料：1000円

## 豊田かおり

### ソプラノリサイタル

花の街

さくら横丁

赤とんぼ

オペラ「セルセ」より樹木の陰で

他

ソプラノ：豊田かおり先生

テノール：橋本慧先生

ピアノ：池原陽子

弦楽四重奏：花崎薫カルテット

◆日時：2018年3月11日（日）開演 14:00

◆場所：瀬戸市文化センター文化ホール

◆入場料：1000円

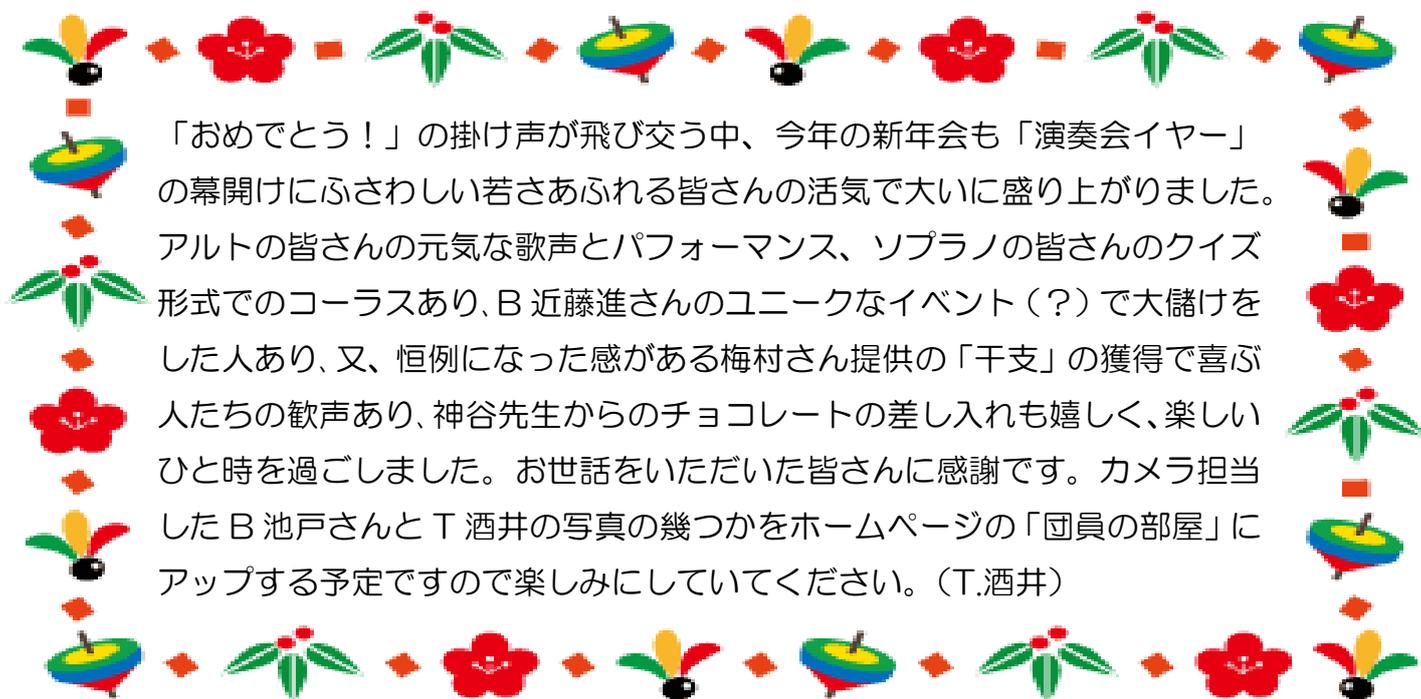


The poster features a portrait of soprano Kaori Toyoda. The text on the poster includes the title '豊田かおり ソプラノリサイタル', the date '2018.3.11.SUN.', and the time '14:00開演 (13:30開場)'. It also lists the venue '瀬戸市文化センター文化ホール' and the ticket price '全席自由 1,000円'. The poster includes the logo for 'dream music factory' and contact information for the venue.



旭混声合唱団/新年会 2018 盛り上がりました！！

レク係の皆さん、本当にお疲れさまでした！



「おめでとう！」の掛け声が飛び交う中、今年の新年会も「演奏会イヤー」の幕開けにふさわしい若さあふれる皆さんの活気で大いに盛り上がりました。アルトの皆さんの元気な歌声とパフォーマンス、ソプラノの皆さんのクイズ形式でのコーラスあり、B 近藤進さんのユニークなイベント(?)で大儲けをした人あり、又、恒例になった感がある梅村さん提供の「干支」の獲得で喜ぶ人たちの歓声あり、神谷先生からのチョコレートの差し入れも嬉しく、楽しいひと時を過ごしました。お世話をいただいた皆さんに感謝です。カメラ担当した B 池戸さんと T 酒井の写真の幾つかをホームページの「団員の部屋」にアップする予定ですので楽しみにしてください。(T.酒井)

◆編集後記◆

ベテランの皆様方の寄稿文からは数々の旭混声の歴史が語られ、その一つ一つを、それを見て来ていない私までもが鮮明に思い描くことができるのは、この広報誌「楽楽」のお陰なんだなあ！と改めて「楽楽」の偉大さを感じました。..と同時に、現広報係として気持ち引き締まりました。

「継続は力なり！」この力は、間違いなく旭混声の歌声となって成長し続けますよね(#.^#)♪

この記念すべき 250 号の編集に携わることができ、とても光栄でした。ますます旭混声合唱団が好きになりました。皆さまありがとうございました。(S.高橋)

